

南山 宗教文化研究所

Nanzan Institute for Religion & Culture

南山宗教文化研究所 所報

第9号

1999年

もくじ

はじめに	J. ハイジック	3
寛容、世俗化、新たな形の宗教性	B. R. ウイルソン	4
批判仏教の背景の批判的考察	J. ハバード	17
ユング心理学と公的自己	J. ハイジック	25
アジア価値観調査	R. キサラ	45
カトリック的死後生の再生 浄土教的理解の試み	寺尾 寿芳	60
《カルト》論への一視点 アメリカのマインド・コントロール論争	渡邊 学	82
昨年の行事		92
スタッフの研究業績		95
<i>Japanese Journal of Religious Studies</i> Vol. 25 (1998) の目次		100

読みたい項目をクリックしてください

はじめに

南山宗教文化研究所は本年、創立50周年を迎える南山大学とともにあることを誇りに思っております。この栄誉を記念して、客員、専任研究所員、研究員等の貢献によって本号は例年の二倍の量になりました。研究所そのものは25周年を迎え、よりいっそうの出版活動を企画しております。その多くは来年の刊行となりましょう。

今回の『南山宗教文化研究所所報』には、ブライアン・ウィルソン氏による宗教的寛容の限界に関する論考、ジェーミ・ハバード氏による批判仏教論、寺尾寿芳氏による新しいカトリック的死後生観の模索、ロバート・キサラ氏のアジア価値観調査についての中間報告、渡邊学氏のアメリカの「カルト」論、および私のユング心理学における公的自己についての論文を掲載しております。

また英語版の所報、*Bulletin 23* には、先年開催いたしましたシンポジウム「キリスト教は仏教から何を学べるか」(同名タイトルで今年三月に法蔵館から刊行)より論題を拾い上げて、ヤン・ヴァン ブラフト氏がいっそう一般的な文脈で仏教のキリスト教に対する貢献について論じています。クラーク・チルソン氏は浄土仏教における秘密集団のいまだ解明されざる現象を考察しています。ポール・スワンソンとヴィクター・宗源・ホリの両氏は、仏教の古典を中国語から翻訳するという各自の仕事において、いっそうの考察を展開しています。ロバート・キサラ氏は、20年以上前にヨーロッパでまず実施された同様の研究に倣った「アジア価値観調査」における実験的調査の結果を概観しています。また私の研究としてユング心理学の諸宗教における役割についての論文が掲載されています。

どうぞこれらの諸稿より何か有益なものを見つけていただければ幸いです。いつも通り、ご批判ご提言は心より歓迎いたします。

1999年5月17日

所長 ジェームズ・ハイジック

研究所のスタッフ (1999年4月現在)

第一研究所員	第二研究所員	研究員	コピー・エディター
James W. Heisig	久松英二	近藤光博	Clark Chilson
Paul L. Swanson	崔賢民	岩本明美	
Robert Kisala			
渡邊学	客員研究所員	非常勤研究員	
奥山倫明	Paula Arai	石脇慶總	梁 暁虹
	Janine Sawada	保呂篤彦	Thomas Kirchner
		寺尾寿芳	

昨年の行事

1998年4月～1999年3月

1999年

- 4月1日 奥山倫明が在米研究から帰国し、第一種研究所員となる。近藤光博が向こう2年間の研究員となる。
- 4月9日 J.ハイジックが13年目になる月に二度公開セミナーを開始する。前年からのゲルジェフ研究を仕上げた後、マルティン・ブーバーの思想を中心に検討する。
- 5月15日 ヴァンダービルト大学宗教学部講師のPaula Araiが、女性の役割と日本仏教の儀礼に関する著作執筆のため、1年間の客員研究員となる。
- 5月23日 Pratoom Angurarohitaが1年間の客員研究を終え、教務を再開するためにタイ・バンコクのチュラロンコーン大学に戻る。
- 6月3日 R.キサラが近刊予定の*Peace in Japan's New Religion*に関する3回のセミナーのうち第1回を行う。
- 6月4日 アリゾナ州立大学教授のJames Foardを迎えて、「中世日本における聖像、神、身体」のテーマで研究会を開催。
- 6月10日 R.キサラが*Peace in Japan's New Religion*に関するセミナー第2回を開催。
- 6月12日 人類学研究所と共催された研究会において、Karen Smyersが「性信仰」に関する研究発表を行う。
- 6月17日 R.キサラが*Peace in Japan's New Religion*に関するセミナー第3弾を開催。
- 6月24日 近藤光博がヒンドゥー・ナショナリズムに関するセミナーを開催。
- 7月1日 Kim Sun-Chol（金承哲）が、日本における宗教間対話の研究と宗教的多元主義の探求のため1ヶ月滞在の予定で来所。
- 9月1日 アイオワ大学宗教学部助教授のJanine Sawadaが、明治期日本の民間宗教、ことに富士信仰を研究するため、10ヶ月間の客員研究員としてスタッフに加わる。
- 9月14日 日本宗教学会が、1999年度学術大会開催校として南山大学を正式に決定。同会議でJ.ハイジックが理事に、P.スワンソンと渡邊学が評議員に選出される。

12月11日 Ruben Habito 龍谷大学客員教授が、「近代日本における日蓮像を超えて」と題して研究会を開催。

1999年

1月13日 Raquel Bouso, Amador Vega, Victoria Cirlot が西谷啓治の『宗教とは何か』のスペイン語訳の最終的な編集のため、2ヶ月間滞在するために来所。

3月2日 P.スワンソンがアメリカでの研究賜暇から戻り、*Japanese Journal of Religious Studies* 編集者としての任に復帰する。

3月31日 1997年度シンポジウム「キリスト教は仏教から何を学べるか」をまとめた論集が法蔵館から同じ表題で刊行される。

他の来客

1998年

4月20日 Peter Clarke, Professor of the history and sociology of religion at the University of London, editor of the *Journal of Contemporary Religion*, and director of the Centre for New Religions.

6月1日 Michael Brannigan of LaRoche College.
Daniel Metraux of Mary Baldwin College

6月7日 José María Fernández-Martos (SJ provincial of Toledo) and Guillermo Rodríguez-Ixquierdo Gavala (SJ provincial of Andalucía and Canarias).

7月8日 Ruben Habito, Professor at the Perkins School of Theology, Southern Methodist University.
Jackie Stone, Professor of Religious Studies at Princeton University.

7月13日 Larry Barnet, a Columban Missionary from Taiwan.

7月15日 Lucia Carassia, doctoral candidate at the Università Ca' Foscari de Venezia.

7月23日 John and Linda Keenan, former members of the Nanzan editorial staff.
Harold Kasimow, George Drake Professor of Religious Studies at Grinnell College, Grinnell, Iowa.

7月24日 Kevin W. K. Lam 林 永強, a doctoral student at the Hong Kong University of Science and Technology.

9月24日 Werner Jeanrond and Aasulv Lande of the Department of Theology and Religious Studies of Lund University.

10月5日 Prof. Joseph Bracken of the Department of Theology, Xavier University, Cincinnati.

- 10月13日 Rev. Josho Warner, a Sōtō nun from the Stone Creek Zendo in Sebastopol, California; the French Benedictine contemplatives Sr. Samuel Nougué-Debat, and Sr. Marie Pinlou.
- 11月9日 Murayama Toshiko 丸山とし子, coordinator of the Centre for North East Asian Mission Studies at Selly Oaks, England.
- 12月13日 Takashima Ken'ichi 高嶋謙一, Professor in the Department of Asian Studies at the University of British Columbia in Vancouver.
- 1999年
- 2月4日 Nils Grueber, formerly German Consul General in Osaka and currently professor of international relations at Meijō University in Nagoya.
- 3月30日 Kevin W. K. Lam 林永強, a doctoral student at the Hong Kong University of Science and Technology.